

令和4年度



学校だより

4/21発行
九度山中学校

学校 HP



学校教育目標

持続可能な未来社会の創り手となるよう、自ら考え行動し、他者とも協働しながら、豊かな人生を切り拓く生徒の育成

新入生29名を迎え、令和4年度がスタートして2週間が過ぎました。生徒は新しい環境に順応できているようで、2・3年生は授業や部活動等に落ち着いて取り組んでいます。1年生はまだ部活動に正式に加入している生徒は少ないのですが、授業中たくさんの生徒が元気に発言する様子をよく見かけることが出来ます。学校や生徒の様子は今年も「学校だより」や「学校HP」等でお知らせします。なお、本年度学校の運営方針については、保護者の皆様にPTA 総会等で説明すべきですが、本年度もコロナ禍により中止になったため、方針を簡潔にまとめた『スクールプラン』を裏面に掲載しています。本年度は「学校教育目標」をリノベーションし、めざす教育（めざす生徒像）と教育活動の一体化を図りました。ご不明なことやアドバイスいただけることがございましたら学校へご連絡いただければと思います。本年度も皆様のご支援・ご協力よろしく申し上げます。（校長：前田）



■主な行事予定

4	23	土	選手権大会	9	月	個人懇談 SC SSW
	24	日	(バスケット・ソフトテニス)	10	火	個人懇談
	25	月	SC	11	水	教員研修のため部活動なし
	28	木	授業参観・進路修学旅行説明会	13	金	内科検診(男子)
	29	金	昭和の日	16	月	交通指導 SC 到達度テスト(3年)
	30	土	全国中学生ソフトテニス対抗戦 さつき杯(バスケット)～5/1	17	火	眼科検診
5	1	日	県中学テニス大会・5/3	19	木	内科検診(女子)
	2	月	交通指導 SC	20	金	心電図検査(1年)
	3	火	憲法記念日	23	月	SC SSW
	4	水	みどりの日	25	水	修学旅行(3年)～5/27
	5	木	こどもの日	27	金	校外学習(1・2年)
	6	金	個人懇談	30	月	中間テスト発表 SC

■4月19日各種テストが同時に行われました。

①全国学力・学習状況調査(3年:国・数・理)、②和歌山県学習到達度調査(3年:英、1・2年:国・数・英)、③九度山町標準学力調査(1・2年:理・社)です。結果や分析については後日お知らせします。

令和4年度九度山町立九度山中学校（学校経営方針）スクールプラン

九度山町学校教育目標

豊かな人格の形成を図ることを主眼として、人間尊重を基盤とした心のふれあう充実した教育を通して生きる力」をはぐくみ、主体的に生きていく元氣な児童・生徒を育てます。

保護者・地域の願い

- ・思いやりのある子ども
- ・学力を身につけた子ども
- ・地域に誇りをもつ子ども
- ・魅力ある学校

【学校教育目標】

持続可能な未来社会の創り手となるよう、自ら考え行動し、他者とも協働しながら、豊かな人生を切り拓く生徒の育成

【めざす生徒像】

- 1 主体的・対話的で深い学びができる生徒
- 2 互いに認め合い、自分も他者も大切にできる生徒
- 3 たくましい心と体をもつ生徒
- 4 夢や希望に向かって努力する生徒
- 5 地域や学校に誇りをもつ生徒

前年度の学校評価

- ・生徒の心情を耕し道徳性の育成や生徒の自主自立に向けた取り組みを進めていただきたい。
- ・学校の取り組みやその狙いについて理解し協力してもらった取り組みについて考えていきたい。

生徒の実態

- ・学習態度はおおむね良好であり、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い
- ・自分の考えを述べることのできる生徒が増加している

重点目標

基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び

- ・質の高い授業の推進
- ・個別最適な学びの推進
- ・家庭学習の充実
- ・PC端末およびデジタル教科書の有効活用

具体的な取組

- 研究主題に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う
- 各教員年2回の研究授業を実施し、効果的・効果的な研究協議や講師を招いての授業研究を実施する
- 指導の個別化と学習の個性化をはかり、生徒の個別最適な学びを推進する
- 九中タイムを有効に活用しながら、家庭での基本的な生活習慣・学習習慣の確立を目指す
- 先進地の視察・専門家の指導を受け、1人1台のパソコンの活用方法を研究し、効果的に活用する

豊かな心とたくましい心身の育成

- ・安心して生活できる、落ち着いた学校環境
- ・よりよい人間関係の形成
- ・道徳、人権教育の推進
- ・体力の向上

■互いの人権を尊重し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、協力し合う態度を育む

■道徳科では、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、議論することを通して、自己の生き方についての考えを深める授業作りを行う

■生徒が進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯を通じて明るく健康で安全な生活を営むための体力と態度を養う

未来社会の創り手となる生徒の育成

- ・体験活動の充実
- ・自立への取り組みの充実
- ・キャリア教育の推進
- ・ふるさと教育の推進

■自己のよさや可能性を認識し、自分らしい生き方を探る力や、夢や希望をもち、叶えるため、最後まで諦めず努力する態度を育てる

■豊かな体験活動（職場体験やボランティア活動）を通して、規範意識と社会性の育成に取り組む

■自立のため、自己肯定感・達成意欲・自己効力感を高める

■ふるさと教育の推進を図り、地域に誇りをもち、地域社会の一員としての自覚を高め、「人や社会とのつながりの中で活躍できる」生徒の育成に取り組む

指標

- ・県学習到達度調査・全国学力・学習状況調査で全教科の正答率が県平均を上回る
- ・学校の授業がよくわかる（生徒90%）
- ・自分の考えを述べるのが得意（生徒70%）
- ・全教員による校内授業研究

- ・学校へ行くのが楽しい生徒（90%）
- ・思いやりや鷹さの気持ちで生活（95%）
- ・いじめの解消率100%
- ・先生は相談しやすい（90%）
- ・運動能力調査が県平均を上回る

- ・先生は自分の努力を認めてくれた（90%）
- ・学校行事に意欲的に取り組んだ（90%）
- ・社会のルールについて学んだ（95%）
- ・先生は相談しやすい（90%）
- ・体験学習での生徒の変容（感想・発表）